

(1) 学校図書館活用教育のベースとして

5年後、10年後に子どもたちが生きていく社会に必要な資質・能力は何か？

第2期 教育振興基本計画では…

我が国は極めて危機的な状況

⇒ ( )・( )・( )に向けた

一人一人の( )な学びが求められている。

(2) 学校図書館を利用した授業づくり

○学習指導要領（総則）においても、指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項として、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童（生徒）の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること」とされている。

○学校図書館の計画的な利用とその機能の活用は、各教科等を通じ、どの教員にも求められる。指導の改善・充実のため、それぞれの教員が、学校図書館の機能を有効に活用するスキルを身に付けていくことが大切であるとされている。

○大田小学校 学校図書館活用教育研究事業 2年目

司書教諭サポート 丹波6時間（主に3～6年）、中島3時間（主に1・2年）

【学習指導、スキル指導、教材研究、学校司書との打合せなどの時間にあてる】

司書教諭 12学級以上の学校に配置が義務付けられている

公開授業（訪問指導）：9月、1月 校内研修：7月

○担任（授業担当者） 主で単元計画を立て、進める。

司書教諭 学校図書館の機能を活用する学習指導、読書指導、情報活用能力の育成指導等を支援、指導する。

学校司書 図書資料の紹介、提供、整備を行う。学校図書館を活用する学習活動を支援する。

☆大田市情報活用能力指導体系表をもとに年間指導計画を作成、見直し

⇒夏休み中に学年部で図書館部員を中心に相談。（この力を付けるにはこの単元で）

☆年間指導計画をもとに、連携して授業を行う。（それぞれがどのような役割でどう関わるかを相談する。）

(3) 情報活用スキルの育成

○学校図書館・・・長い間、本好きな子どもが集まる場所だった

読書の間 + 学びの間  
読書センター 学習・情報センター

《探究的な学習》問題を解決するには

①課題の設定

②情報の収集

③整理・分析

④表現・伝達

考えて（思考）（判断）伝える（表現）